



原発ゼロに

遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



ホームページ

繰り返される不祥事＝反省しない“無責任の東電”に運転資格なし なくそテ原発 柏崎大集会に900人超



9/20 「なくそテ原発」と会場いっぱいにメッセージボードを掲げる参加者



六ヶ所村のたたかいで歌った女性たちが再結集し、「原発なくせ」と歌う



柏崎市内をアピール行進する
原発ゼロ長岡市民ネットの皆さん

●カギを握るのは、再エネが持つ「柔軟性」だ。手間もお金もか

9月20日、アルフォーレ柏崎で「なくそテ原発 柏崎大集会」が行われ、900人超が参加しました。

講演する大島堅一氏
◇大島 堅一 龍谷大学 教授が「原子力の『最大限活用』の無責任」と題して講演。

●原発には倫理的欠格がある。①被害が大きく元に

戻らない(不可逆)、②被害、影響が不均等に発生する(同世代の不等)、③世代を超えて被害が及ぶ(世代を超えた不平等)。a、手間とお金は次世代が担う。b、超長期の管理が必要である。

●原子力発電は「無責任の構造」である。①野心的な計画、過大な目標を立てる。ないしは無計画である。②失敗する。目標を達成できない。③無反省である。原因究明を怠る。順調であるかのようにふるまう。④先送り。根本的な方針転換を行わず先送りする。⑤ツケ回し。ツケ・負担は市民、次世代が負う。

●原発ゼロ・再エネ100%は可能だ。EUも中国も再エネが超スピードで増えている。ドイツは64%が再エネにチェンジした。しかし、日本政府は、原発は「バックアップ電源として必要」や「電源の調整力として必要」などと旧式な考え方に固執し、衰退する原発を維持するための政策を推進している。



行進する遠藤れい子と服部耕一市議

遠藤れい子と平和のコンサート

～権藤真弓とジャズライブ&市民トーク～

2026年11月1日(日)

13:30開場 14:00開演

リリックホールシアター

・全席自由 一般1,500円

小学生以下無料



らず電力を供給でき、瞬時に調整できる再エネに転換すべき時。市民の力を結集し、原発をなくそう!

◇県民ネットワーク事務局の中山均氏が「再稼働後の私たちの課題と展望」について報告。長野県木島平村の山浦登村議が特別発言。

◇集会後、参加者は3グループに分かれて柏崎市内を「原発再稼働ストップ!」と元気な声を響かせてアピール行進。遠藤れい子も列の先頭を元気に歩きました。